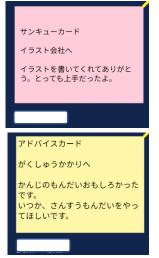
## 教育課程の展開例を活用したタブレット活用のアイデア

- 1 活用した教育課程の展開例 → 特2-6
- 2 展開例を活用したタブレット活用のアイデア

事前 ロイロノートのカメラ機能 を使って、これまでの活動内容 を説明する画像や動画を記録しておく。

- ロイロノートのカメラ機能 を使って、事前に録画したこ れまでの活動内容を提示す る。
- ② ロイロノートの生徒間通信機 能を活用して、意見やアドバイ スを送信し合う。

事前に意見やアドバイスを入 力したカードを準備しておくと よい。



## 事前の活動

これまでの活動内容を見直し、係への要望に答えられる活動を考えるよう にする。

- 3 準備 短冊、賛成・反対を示すマグネット、児童名を書いたマグネット
- 4 指導過程

## 学習活動 指導上の留意点

## 出し合う

- (1) これまでの活動を 振り返り、ポスターや 紙芝居等を作り、発表 する。
- (2) よかったことや改 善するとよいことを アドバイスし合う。
- 2 くらべ合う

出されたアイデアを 見て、それぞれのアイデアを「役立ち」「活躍」 の二つの観点で比較する。

3 まとめる(決める) どのアイデアを基に 活動をレベルアップさ せるのか決める。

- 係グループごとにこれまでの活動内容や「しっかりできたこと」「困っていること」を発表させ
- る。 〇 「役立ち」「活躍」二つの観点を得点化し、頑

張りを文章で表現するように助言する。 みんなが楽しい遊びをやりたいけれど、 新しい遊びのアイデアが遅かがませた。

- 新しい遊びのアイデアが浮かびません。 自己評価の結果や友達からのアドバイスを関
- き、今後の活動に生かせることを取り上げるよう に助言する。 ○ 「役立ち」「活躍」がともに同じアイデアのも
- のは、実現可能かどうかを児童に考えさせ、係活動がよりパワーアップできるアイデアを考えさせる。 鬼ごっこと玉入れを組み合わせて、鬼から逃げながら、玉入れをする遊びはどうかな。
- 教師は、活動の見直しが進まない係グループの 話合いに入り、助言する。
- 活動を一つに決めることができない係グループには、二つの意見を組み合わせたり、順番に取り組ませたりすることで、活動内容を決定させる。
- ③ ロイロノートの「提出箱」を活用して、係活動の目標を表示する。
- 3 タブレット活用の有効性について
  - ① ロイロノートのカメラ機能を使ってこれまでの活動を紹介する画像や動画を作ることで、自分の活動を振り返ることができる。また、画像を見せることで、自分たちの活動を友達に分かりやすく伝えることができる。
  - ② ロイロノートの生徒間通信機能を活用することで、係グループの子全員へ意見やアドバイス書いたカードをコピーして送信することができる。
  - ③ ロイロノートの「提出箱」を活用することで、今後の係のめあてを学級の児童全体 に知らせることができる。